

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Plus+days鳳校		
○保護者評価実施期間	令和6年 3月 4日		～ 令和6年 3月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和6年 3月 6日		～ 令和6年 3月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 5月 16日		

## ○ 分析結果

※ 一部追加の設問については令和6年9月に追加でアンケートを実施しています。

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども本人や保護者の意向を取り入れつつ、子ども一人一人に合わせた支援が行えていること。	いただいた意見や要望についてはすぐに支援に取り入れられるように職員で情報共有しながら取り組んでいる。 送迎でお会いした際などには保護者の方と細やかに情報共有し意向を聞くことができるようにしている。	共働き家庭などお会いする機会の少ない保護者の方への申し伝えや意向のお伺いは日々細やかにはできづらいため、そういった家庭でも気軽に連絡のやり取りができるよう、契約者専用サイトのメッセージ機能の周知を図っていく。 全体へ関わる取り組み内容等については、SNSや会報を通じてより丁寧に細やかに情報発信をしていく。
2	部屋がいくつか仕切られていて、その時々児童のようすや活動に合わせて空間を使い分けることができていること。	一部がパーテーションの間仕切りになっているため、必要に応じて大きな空間にして見通しをよくして安全に配慮している。 子どもの実態に合わせて、ルーティンが必要な児童は同じ時間の活動のする部屋を固定にしたり、安心できる広さの部屋を割り当てたりして工夫を行っている。	死角ができてしまうことのないように、職員の立ち位置や配置の上での連携がうまく取れるようにする。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域連携が十分に取れていないこと。	学習などの課題活動が中心の事業所のため、サービス利用時間に地域連携を行うためのまとまった時間を確保することができないため。	土曜日は長時間の利用時間を確保できるため、地域との交流がもてる活動を取り入れる工夫を行っていく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	Plus+days鳳校
------	-------------

公表日 令和6年5月16日

利用児童数 令和6年3月31日

回収数 22

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	2	0	1	部屋でボール遊び等体を動かす遊びには少しせまい気がする。	部屋の間仕切りをなくして広く使えるようにしていきたいと思う。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	1	0	2	送り迎えをしてもらっているのに職員が何人いるのか理解していない。	職員のことをより知っていただけるように周知の徹底を図っていきたい。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	5	2	6	入口の階段が少し急なので暗くなると見えにくい。 入口が2階で階段なので足が不自由な方には大変そう。 外の階段が少し滑りやすく危ない。	暗くなる前に階段や駐車場の明かりをつけるようにしている。 滑りづらくなるように滑り止めをつける等の対策をしていきたいと思う。(⇒その後対応済み)
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	0	0	0	特性や年齢によって活動の空間を分けることもしてくれている。 清潔な印象がある。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1	0	0	子どものことをよく理解してくれている。 スタッフと話すたびに、理解する姿勢や対応を感じる。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	0	0	2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	0	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	0	0	1	利用中の本人をまだ見たことがない。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	0	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	9	9	他の子と活動しているのかわからない	現在交流はないが、していきたいと考えている。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	1	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	2	0	1	定期的に案内してくれている。 情報提供してもらっている。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	21	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	2	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	1	0	0	全てのスタッフが子どもを理解してくれている。 いつも心強い。 要望を聞いて実践してくれる。進捗具合も共有してくれる。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	0	0	5		昨年は年2回保護者会を開催した。今後 も年2回開催できるようにしていきたい。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	0	0	3	苦情を言われたこともないし、あったと聞いたおぼえがないため。	苦情があった際は迅速に対応するようにしている。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	0	0	1		毎月会報を発行し、活動内容や次月の予定等を発信している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	0	0	1		個人情報の取り扱いについての同意を契約時に説明をし、サインをいただいている。情報発信においても子どもの子どもの顔がわからないようにスタンプ等で隠して発信するようにしている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	2	0	4		緊急時、防犯・感染症の対応マニュアルは作成している。保護者の方にも周知・説明できる方法を考えたいと思う。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	2	0	5	避難訓練をしていると思いますが、子どもも全員参加しているのか良くわからないため。	なるべく多く子どもが参加できるように平日の集団活動や土曜日のイベントで取り組むようにしている。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1	0	1	日々の対策はあまり把握できていない。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1	0	2	事故があったなど聞いたことがない。いつも丁寧。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21	0	0	0	楽しみに通っている。 プログラムが変わったことで下級生とのかわりが増え、その中で自分の役割を見つけてやりがいを感じ通所している。 「プラスさんやー！」と嬉しそうに行く。 毎日通うのを楽しみにしている。お迎えの時、家とは異なるハイテンションなので安心して楽しく過ごしていることを感じる。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	3	0	0	家ではなかなか取り組まない事もして頂ける。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Plus+days鳳校		公表日		令和6年 5月 16日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	0	ブレイルームをパーテーションで区切り、個別対応を行っている。 利用児童が多い時にはパーテーションを開けて広く空間を使うなど工夫している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	0	適切な職員配置での運営に気を配っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	0	見通しがわかりやすく示されている。 ロッカー・トイレ・スケジュール表等使い方や1日の流れを視覚的にわかりやすくするため張り出している。また、個別に合ったカード等も必要に応じて作成している。 外階段に手すりを付けている。	外階段が雨の日滑りやすいため、防滑テープを貼る等対応を考える。(⇒対応済み)	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	活動に応じてパーテーションの使い分けがされている。 毎日アルコール消毒を行っている。 活動ごとに部屋をわけるようにしている。	基本的に児童は入室しないことになっているが、入室してしまった際に危険なものや触ってはいけないものが明確にわかるようにするため、スタッフルームの内についてももっと整理整頓をする。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0	一人になりたいときや集中したい時には静養室を使うようにしている。 複数の部屋があり、その時々に応じて使用できている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12	0	朝礼、昼礼、終礼で情報共有をしたり、参加できない職員にもわかるように共有ノートにその内容を記載したりしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	評価表でいただいた意見をもとに、職員へ問題提起を行い、課題解決のためにできることを考えている。	職員間への共有を行うが、日常的な確認や年度途中入職の方への周知が十分でないため、周知の徹底を行う。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	終礼等で話し合っている。 これまであった朝礼、終礼に加えて昼礼ができたことで話す機会が増えてメリハリもできた。 朝礼、昼礼、終礼で話す場を設けたり、参加できなかった職員も共通認識をもてるよう共有ノートに子どものようすや改善策を記入している。	意見を積極的という職員とそうでない職員がいるため、まんべんなく意見の吸い上げができるよう工夫をしていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	2	外部評価はおこなっていないが、社内での評価制度を用いて評価を行っている。	年度途中の職員への周知が行き届いていないため、周知の徹底を行う。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0	定期的に研修を行い知識を高めている。 研修情報の共有を行っている。		

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	ファイルに綴じていつでも見れる。 5領域全てを支援できるようにプログラムを考えている。 毎月の通信やSNSで取り組みを配信している。 大まかな支援の内容や指針についてホームページで公開している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11	0	書きやすいよう簡略化したアセスメントシートを用いて現状の把握と解決策を考えている。 ニーズや課題を一通り出したあと、その中で最優先のものは何かを考えるようにしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	支援計画の作成Mtgをしたり専用の用紙を使いどの職員にも意見を聞けるようにしている。完成した支援計画は児童の個別ファイルに挟みいつでも見れるようにしている。 自分の知らない出来事や他の職員から見た様子なども確認し、その後の支援につなげるようにしている。 それぞれの職員が意見を出し合い、より良い支援計画ができていと思う。	共有はされているが、個々の職員がそれぞれ考えていることもあり、共通理解をもっと増やしてどの職員も同じ対応、一貫性のある支援ができるようにしていきたい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1	ファイルを見ながら計画に沿って行うようにしている。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	1	職員間でノートを使って情報共有を行っている。 学習支援に対して共通のアセスメントツールを使用している。	標準化されたマニュアルを策定していきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	子どもの支援に必要な項目が何かを話し合い、適切に設定できるようにしている。どうすればよいか具体的に内容を決めるようにしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	0	個々に合わせた課題を考えて取り組んでいる。 スタッフ同士で話し合いを行い案を出し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	毎週違うイベントを実施し子どもたちの力を引き出している。 活動内容を事前に決めて固定化をなくしている。 担当職員が固定化しないようにしている。 季節や子どもからの要望も踏まえてプログラムを考えている。	固定化しない中でも統一された支援に対する考え方や支援の目的をもって各自が対応できるよう、工夫をしていきたい。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	0	平日は学習等課題活動中心、土曜日はイベント活動中心にしている。また、長期休暇中は限られた時間の中でも楽しめる活動を考えるようにしている。	長期休暇中も平日と変わらないサービス提供時間だが、その中でも特別感や楽しみをもって参加できる活動は何かさらに考えて取り組みに反映させていきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0	毎日必ず朝礼を行い1日のスケジュール確認を行っている。 イベント内容や集団活動の内容は事前に共有するようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	0	終礼を通してそれぞれが感じたことや子どもたちのようすを確認し、次の支援につなげるようにしている。 ノートに記載し終礼に参加できなかった職員にも共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	記録漏れがないか毎日確認をとっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0	職員間で話し合いつつ、子どもの日頃の様子や課題等についてモニタリング内容に繁栄させている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	11	0	基本活動を複数含むよう意識しつつ支援を行っている。	基本活動の中のどれにあたるのか、日々の日常的な支援と常にリンクさせることができるよう、職員全体へ周知行う。

	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	1	集団活動や土曜日イベント等で自己決定できる場を取り入れるようにしている。 自己選択、自己決定の力に繋がるように、間違えても大丈夫、違った答えを言っても良いという雰囲気や学習活動を進めるように心掛け意見を言いやすいようにしている。 一人で自己選択が難しい場合は選択肢を言えくか伝えて自分で選べる機会を作るようにしている。	子どもが主役となる場面をもっと作っていき、それを職員がまとめるような体制をとるようにする。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0	児発管が参加している。	児発管だけでなく、可能な限り職員も同行するようにする。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0	担当者会議に参加し学校・家庭・他のデイの人と意見交換をしたり担当の支援員の人にモニタリングに来てもらい連携できるようにしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12	0	送迎時の引き渡しの際等学校でのようすや学習内容等についてしっかりとコミュニケーションをとるようにしている。 送迎時間、利用日が記録された手紙を配布している。 下校時刻の用紙をいただいたり、送迎方法について学校と連絡を取り情報を共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	2	児発から通っている子どもに対しては、各機関と引き継ぎを行えている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	2	該当する児童がいない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	1	センター研修は受講できなかったが、支援に精通した他事業所や他機関に相談し助言をいただいている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	5	地域の児童との交流の機会はもてていない。	交流できる機会をどのように生み出していくのが模索していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	1	地域自立支援協議会への参加はできていない。放課後連絡会にはできる限り参加して、地域のことや障害支援の動向について学ばせてもらっている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	連絡帳で様子や気になったことを共有している。 発達の状況や本人の課題、些細な出来事等共有するようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	2	保護者会の中で支援に関する助言を行っている。 相談があった際や、子どものようすや保護者のようすから必要としていたりと感じられた時には、その都度保護者へ向けての助言、支援を行っている。	
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	契約時や保護者から質問があったときなど、丁寧な説明を心がけて対応を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	完成した支援計画を保護者の方に一度見てもらい、納得した上でサインをもらっている。 取り入れてほしいことや修正等があればその旨を付け加え再度作成している。 保護者や子どもの意見に沿うように支援の下方を工夫している。 保護者のみならず子どもの発達状況を踏まえて可能な限り本人の意向も聞き、保護者への橋渡しを行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	0	必ず支援内容は口頭もしくは電話で説明している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	相談を受けた職員だけでなく、話を共有して職員全体で助言や支援ができるようにしている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	11	1	保護者同士繋がりをもてるように、年に数回保護者会を実施している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	体制整備を行い、迅速・適切に対応できている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0	毎月紙媒体の通信を作成、配布している。SNSでも活動内容を投稿している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	入職時、職員に秘密保持の同意書にサインをもらっている。利用者の写真掲載について同意書をもらうとともにそれぞれの意識について一覧表を作成して都度確認している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	子どもに対しては、それぞれの児童に合わせて写真やイラストカード、ハンドサイン等を用いて対応を行っている。保護者に対しては、言葉だけでなくアンケート用紙で要望を聞いたり、伝達事項を書面にも書き起こす等して対応している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5	地域との交流の機会は持っていないが、同法人の他事業所との交流行事を実施している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	1	職員へはSNSを用いた共有ノート等を通じて周知を行っている。	保護者に対しては、共有システムの活用等を行っていつでも確認いただけるような形式での公開も検討していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	BCPは作成し、職員への周知と事業所内での掲示を行っている。災害発生時のシミュレーションと児童と一緒に訓練を行っている。	職員のみでも訓練も行っていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0	毎年4月にフェイスシートを記入してもらい、服薬やてんかん発作等の状況を確認している。保護者に記入いただいた状況シートはファイリングし、一覧表にしてすぐに確認できるようにしている。	確認を忘れることのないように対策を行う。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	1	アレルギーの有無についてフェイスシートで確認して一覧表を作成している。アレルギー食材を用いた調理活動は行わない。含まれる可能性がある場合は事前に保護者へ確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	年に2回虐待防止研修を開催している。危険な場所や破損などがあった際にはすぐに対処して安全確保に努めている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0	虐待防止研修をした際にはSNSや通信で発信するようにしている。	災害時の避難先について、契約時にも保護者へあらかじめお伝えするようにして周知をさらに徹底していきたい。繰り返しの周知を今後も続けていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	作成したら共有ノートに記入し専用ファイルに綴じていつでも振り返ることができるようにしている。	共有した内容を職員がどこまで詳細に把握できているのか不明なため、周知の程度を図り徹底できるよう工夫を行っていきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	年2回、定期的に研修を行っている。当日参加できなかった職員には動画を撮って視聴してもらっている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	2	現在身体拘束を行っている児童はいない。安全確保の必要がある場合には事前に保護者への説明を行っている。	情報共有はおこなっているが、職員による意識の差を埋めるためにもさらに詳細な認識共有のためのツールを考えていく。	